

あおいクリニック銀座



痛くない&結果がすぐわかる治療にこだわり

中野あおい院長の熱意と腕が評判を呼び、美容業界や芸能界にもファンの多いクリニック。これと思った治療法はとことん突き詰めて研究し、院長みずから試して検証。痛みやダウンタイムがゼロに近い治療を実現しています。スタッフは全員女性なので気軽に受診できるのもうれしい。

DATA
 ④東京都中央区銀座5-5-13 坂口ビル5F ☎03-3569-0686 ⑤10:00~19:00 ⑥木・日・祝 予約制 初診料 3,150円 http://www.aoi-clinic.com



私が挑戦します!
美容エディター 大塚真里

試してみてもうどうだった?

注射なのに痛みがなく、翌朝の肌の調子の良さに感激。中野先生は手打ちですがメソガンという機械を使うクリニックも多いそう。



2 気になる場所に数カ所打ちます

美白メソセラピー(皮下注射)は、シミが気になる部分を中心に、顔の両側で何本か打ちます。



1 肌悩みに合わせて調合

美容専用極細針を使う皮下注射は痛みゼロ! 遠目では見えないほどの極細針を使い、麻酔クリームを塗ってから打つのでチクリともしません。



注射
点滴

Advice from Doctor



中野あおい 院長

あらゆる先端の美容医療をみずから試す実践派。研究を重ね、独自の治療法に昇華させています。

当院の皮下注射は肌質に合わせて打ち方や針の太さを変えているので、ほとんど痛みを感じないのが特徴です。皮下注射も点滴も、成分がダイレクトに入るため即効性が高いのが特徴。緊急時にぜひ利用してください。

体験Report!

肌色のトーンアップを即効実感

注入療法

■美白メソセラピー1回36,750円 ■スペシャル点滴1回15,750円
 1回で結果がきっちりわかる治療にこだわりを持つあおいクリニックでは、皮下注射や美肌点滴などの注入療法に力を入れています。美肌成分を皮膚や血液にダイレクトに届けることができるので、即効果があらわれるのです。皮下注射は院長こだわりの手打ちで、ほぼ無痛!

■メリット&デメリットは?

- 1 すぐに効果を実感できる
- 2 所要時間が短い
- 3 シミだけでなく美肌効果も

- 1 シミの種類によっては、消えないものもある
- 2 注射の針に怖さを感じる人も

肝斑治療には飲み薬が有効

内服薬

導入治療など積極的な肝斑治療法が開発されていなかった時代、肝斑には主に内服薬が使われていました。今では導入や光治療と併用して、トラネキサム酸やビタミンCの内服薬を処方するクリニックも多数(写真はアヴェニュー六本木クリニックで処方されるもの)。

根気よく使えばシミがとれる!

外用薬

美白の外用薬として多くのクリニックで勧めているのが、レチノイン酸とハイドロキノン併用の併用。レチノイン酸の代謝促進作用&ハイドロキノンの強力な美白効果で、1~2カ月でシミが消えることも(写真は松倉クリニックで処方されるもの。15g 14,175円~)。

■メリット&デメリットは?

- 1 肝斑に効果がある
 - 2 肌への負担がからず手軽にできる
 - 3 価格がリーズナブル
- 1 肝斑以外には効きにくい
 - 2 効果があらわれるまで時間がかかる

■メリット&デメリットは?

- 1 スキンケア感覚で気軽にできる
 - 2 価格がリーズナブル
 - 3 ニキビや毛穴治療にも効果的
- 1 効果があらわれるまで時間がかかる
 - 2 治療中に皮むけを起こす

老化防止には絶大な効果あり

ホルモン療法

加齢で失われるホルモンを内服薬や注射で補い、若さをキープする方法。精密な検査の結果、不足している成長ホルモンや女性ホルモン、メラトニンなどを慎重に、バランスよく補っていきます。シミだけでなくシワやたるみ、体の疲れや気力の衰えなど初期老化の症状が出始めたときにオススメ。

老化の天敵を排出して透明感UP

キレーション療法

がんの予防や免疫力のアップによいと注目されているキレーション療法。老化の天敵である微量の金属をキレート剤によって体外に追い出す方法です。肌の透明感アップにも効果があります。クリニックで受ける療法のほかに、手軽なものもあります(写真はあおいクリニックのキレーションガム100錠 10,500円)。



■メリット&デメリットは?

- 1 体調がよくなる効果も
- 2 価格がリーズナブル
- 3 総合的なアンチエイジングに効果が

- 1 効果実感がわかりにくい
- 2 慎重な治療が必要

Treatment 04

手軽なものから本格体質改善までいろいろ

その他 (注入療法、外用薬、内服薬etc.)

エネルギー補給感覚で受けられる皮下注射や点滴、コスメやサプリメントのように身近な外用薬、内服薬……。そんな手軽に始められるものから本格的な体質改善治療まで、さまざまなものをご紹介します。

■どんなシミに効くの?

施術の種類によって異なります。

皮下注射や点滴、外用薬、内服薬は、使用する成分によってシミへの効果が異なります。キレーションやホルモン療法といった体質改善系の治療は、シミ単体でなく肌全体の若返りにつながるものが多いもの。ただし、どの場合も真皮にあるシミやアザをとることはできません。

■どんな成分を使うの?

注入療法

ビタミン類

メラニンの抑制・還元効果的なビタミンCが中心。抗酸化作用の高いビタミンE、総合美肌作用を持つビタミンA、代謝を促すビタミンB群、血流を促すビタミンKなどをブレンドしたマルチビタミンで肌環境を底上げすることも。

プラセンタエキス

点滴や静脈注射に使われる成分。体内に直接注入することで、細胞や体の組織を活性化し、即効的に全身の新陳代謝が活性化。肌色が明るくなるだけでなく、続けることでシミを肌の外に追い出す作用が期待できます。

その他

体内の環境を整えて新陳代謝を高める必須アミノ酸、ニンニクのような効果があるアリナミンは美肌点滴によく使われる成分。皮下注射には美白成分のハイドロキノンやデトックス効果のあるグルタチオンなどが使われます。

外用薬

トラネキサム酸

肝斑の治療には、メラニンの生成をおさえるトラネキサム酸が有効。市販の美白コスメにも配合されていますが、皮膚科の外用薬のほうが濃度が高く、効き目も大。外用薬においては、副作用はほとんどありません。

レチノイン酸

レチノイド、トレチノインとも呼ばれる、ビタミンAの一種。角質層をピーリングすることでコラーゲンの生成を促進。使い始めの1~2カ月は皮むけが続くものの、むけ終わったあとはふっくらとした美肌へと生まれ変わります。

ハイドロキノン

強力な美白剤。レチノイン酸とあわせて使うと老人性色素斑に目覚ましい効果を発揮して、薄いシミなら1カ月後には完全に消えてしまうほど。刺激が強く、肌の弱い人は赤みやかゆみが出ることもあるので、濃度には注意が必要。

内服薬

L-システイン

髪や爪、肌に存在するアミノ酸の一種。メラニンの生成を防止&今あるメラニンの還元・排出を助け、シミの治療には大活躍の成分です。さらに、肝臓の機能を高めて有害物質の分解や肌の新陳代謝を促すなどの美肌効果も。

ビタミンC

美白成分として有名なビタミンCは、肌に塗るだけでなく体内からの摂取を併用すると、より美白効果がアップ。食べ物にも含まれますが加熱すると壊れてしまう性質を持つため、内服薬で強化するのが美白対策としてオススメ。

トラネキサム酸

テレビCMで話題になったトラネキサム酸の内服は、肝斑の治療に効果があります。元来はじんましんの薬ですが、最近肝斑への効果が明らかに。メラニンの生成をブロックし、肝斑が紫外線で濃くなるのを未然に防止。